

	陶芸体験			
概 要 (セールスポイント)	・ろくろを使わず手作りで世界で一つだけの作品を作ることができる。 ・宿泊した自然の家での活動の思い出作品として残る。			
諸条件	場 所	創作のやかた, 多目的ホール, 集会室	対 象	全年齢
	所要時間	1時間30分～2時間程度	人 数	100人程度まで
	時 期	通 年	天 候	全天候
活動の 教育的効果	表現する力を育む。実際にねんどに触れ、完成のイメージをもちながら、自分ならこういうものを制作してみたいという思考の過程を通して、創造力を高めることができる。			
準備する物	少年自然の家が貸出可能な物(材料を含む)		団体(個人)が準備する物 ※参考	
	☐粘土 ☐新聞紙 ☐水入れ(グループに1個) ☐竹串		☐材料費(800円) ☐事前にどんな焼き物を作るか決めておくと言業がスムーズになる。	
活動内容 (手順)	活動の流れ			備 考
	事 前	☐自分の生活の中で、どのような場面で陶器を使用したかを考えておくと、作品作りがスムーズにいく。		
	説 明	☐手法説明(陶芸店「大友工芸」が指導)		
	準 備	☐説明後に材料と道具配布		
	陶器づくり	☐作り方で悩んでいる人に対しての支援補助(責任者) ☐お互いの作品を鑑賞し合う		
	終 了	☐後片付け ☐連絡等(作品の出来上がりは1ヵ月半程度)		
想定される リスク	☐仕上がりまで、1ヵ月半程度かかることを確認。(県内は窯元から直接団体に届けられる。県外は着払いで郵送。) ☐制作過程で上手くできない参加者への支援・補助。			
指導の バリエーション	☐最後に余った粘土で、模様を付けられる。 ☐ねんどの余りがない人は、竹串で模様を描くこともできる。			